

全科協ニュース

Japanese Council of Science Museums Newsletter

全国科学博物館協議会 国立科学博物館 東京都台東区上野公園 ☎110 Tel.03-5814-9857・9858 Fax.03-5814-9898 平成7年9月1日発行(通巻第144号)

特集 でんきの科学館 入館者600万人突破

中部電力株式会社
でんきの科学館

はじめに

～9年余りで入館者600万人突破～

当館は平成7年8月13日に、開館以来9年余り経過して、来館されたお客様が600万人に達しました。

これは、全国エネルギー関係の同じ施設の中では初めての記録です。

当館は中部地方電気事業発祥の地である名古屋伏見に、昭和61年7月“楽しく科学とふれあう広場”をコンセプトに「参加・体験・未来志向型」の新しいスタイルの科学館としてオープンしました。

この趣旨は、地域社会の発展と文化の向上に役立てるべく、電気の基本知識や、発電から家庭に届くまでの仕組み、さらに科学知識の普及に努めることと、エネルギー全般についての理解を深めていただくために作られました。

ここは、中部電力の前身である名古屋電灯会社が、明治22年石炭火力発電所を建設し、名古屋市内に初めて電気を送った“ゆかりの地”であります。

当館は、近くに名古屋市科学館、名古屋市美術館などがある文化エリアの中心部にあり、交通の便の良さや、入館料無料とあいまって多くの入館者が訪ねられています。その大半は次世代を担う小中学生であり、学校の授業の一環として校外学習の場として、また春・冬休み期間中には、地域の子供会や親子見学会等の家庭教育や生涯学習の場として利用していただいています。

1. 設立年月日

1986年7月20日

2. 施設の概要

電気文化会館(地上13階地下3階)の2階～4階が当館

となっています。展示面積は約6,000㎡あり6つの展示室と3つのシアターで構成されています。

3. 所 属 中部電力(株)広報室

4. 職員数 33名(館長1名、副館長1名、副長3名、コンパニオン28名)

5. 開館時間 9:30～18:30

6. 休館日 毎週月曜日(祝日、または振替休日の場合は翌日) 第三金曜日、年末年始。

7. 交通機関 地下鉄「伏見」駅4番出口から、東へ徒歩2分

8. 入館料 無料

9. 展示室 A展示室(電気の発見)

エジソン、ボルタなど、電気の発見と発展に貢献した科学者たちとホログラフィでご対面。音と映像がかけめぐるワープトンネルをくぐり抜けて、人類と電気の出会いの頃へタイム・スリップ。

B展示室(くらしと電気)

クッキング・ヘルシー・カルチャー・シルバーの4つのゾーン。そして集中操作基地“インテリジェント・コア”には、安全で効率的な最新電気機器が勢揃い。

さっそく暮らしの中に取り入れたい楽しさ、

便利さがぎっしりです。

C展示室（電気の旅）

新エネルギーのコーナーでは、現在研究開発が進められている風力発電や太陽光発電など6種類の発電のしくみを模型を使って紹介します。水力・火力・原子力発電のしくみがわかるエレクトリックアイランドがお待ちしています。

D展示室（原子力の世界）

実物の1/4の精巧な原子炉を舞台に、愉快的仲間たちが原子力発電のしくみを解説するアトムシアター。また安全性についてはかわいい人形が紹介します。

E展示室（ふしぎのくに）

思わず、自分の目や鼻を疑ってしまう。そんな様々な“トリック”が、森、庭、家、城の4つのゾーンに展開します。

その数、全部で21。「ふしぎ体験ノート」を手 Wand ー ラ ン ド の 探 検 で す 。

F展示室（情報プラザ）

ぐるり館内を一周したあとは、ビデオテックで総復習。知るほどに増えてくる知識欲にはライブラリーがお応えします。

また、でんき資料室では、中部電力所蔵の産業遺産や皆さまから寄せられた懐かしい道具などを展示しています。



E展示室「斜めの部屋」

● オームシアター

双方向映像システムによる観客参加型のシアター。

エネルギーや乗り物を選びながらクイズに答え、最終目的地スペースコロニーをめざす物語、「200X年エネルギーの旅」を体験していただきます。さあ、宇宙をめざして、冒険の旅に出発です。

上映40分 収容90名

● サイエンスシアター

音と光による仮想現実の世界を創造するバーチャルサウンド（立体音響）「バーチャル男の音の館」。

自然の部屋・暮らしの部屋・科学の部屋の三つの部屋で構成し、リアルなバーチャルサウンドと映像で様々な音を体感していただきます。

上映13分 収容40名

● 原子力情報コーナー

電気や科学に関する書籍を約900冊とビデオテープ約130本の種類を設置しています。

原子力情報では原子力関係書類をまとめ、原子力情報公開のためのPR活動に利用しやすい形を整えています。



安全のおはなし

10. 展示関係改装

昭和62年7月15日～7月20日 E展示室一部

昭和62年9月1日～10月13日 B展示室全面

平成元年5月8日～7月20日 D展示室全面

平成2年7月20日 オームシアター、サイエンスシアターのソフト変更

- 平成4年9月2日～9月20日 C展示室一部
- 平成4年3月16日 B展示室一部
- 平成4年11月9日～12月19日 E展示室全面
- 平成5年11月29日～12月20日 アトムシアターのソフト変更
- 平成7年3月6日～3月7日 C展示室一部
- 平成7年2月27日～3月17日 D展示室
プルトニウム物語設置
- 平成7年7月22日 サイエンスシアター「バーチャルサウンド」オープン

- ・ミラクル・サイエンス展
ドイツのレントゲン博士がX線を発見してから今年で100年。これを記念して開催した。
(平成6年8月9日～8月21日)
- ・松永 安佐エ門の足跡
わが国の戦後50年をふりかえり、でんきの歴史と電気事業の立て直しを推進し、電力の鬼といわれた松永安佐エ門の足跡を紹介した。
(平成7年8月8日～8月27日)

11. 加入団体

- 全国科学博物館協議会
- 東海地区科学施設協議会
- 財団法人日本博物館協会
- 愛知県博物館協議会
- 全国科学館連携協議会
- 中部産業遺産研究会

12. 過去の特別展、夏休み、春休みイベントの開催

①特別展

- ・名古屋の電気の今昔
名古屋に電灯が初めて灯った明治22年、ときを同じくしてスタートした名古屋市制、この2つの出来事を時代時代の人々の暮らしと電気事業の歴史を紹介した。
(平成5年6月1日～6月20日)
- ・電力王 福沢桃介展
近代日本の産業興隆に大きく貢献した日本の電力王、経営の鬼と呼ばれた福沢桃介翁の功績を紹介した。
(平成6年5月23日～6月12日)
- ・でんきの戦後50年展 松永 安佐エ門展
戦後50年をふりかえり、でんきの歴史と戦後電力の発展の基を築き上げた松永安佐エ門の足跡を紹介した。
(平成7年5月23日～6月4日)

②夏休みイベント

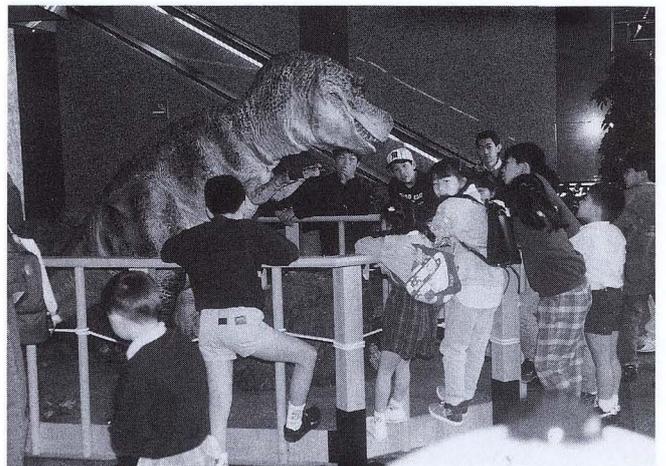
- ・おもしろエレキフェア
ニコラテスラが1893年にシカゴで開催された、コロンビア博において世界で初めて交流発電機を実用してから丁度100年目にあたりこれを記念して開催した。
(平成5年7月27日～8月1日)



春休みイベント「松永安佐エ門の足跡」

③春休みイベント

- ・おもしろロボットフェア
産業用の最新鋭ロボットからからくり人形など紹介した。
(平成6年3月23日～4月3日)
- ・でんきの単位展～ボルタ生誕250年記念
ボルタ生誕250年を記念して、でんきの単位に関係した科学者を紹介した。
(平成7年3月21日～4月2日)



春休みイベント「でんきの単位展」ガオス

13. 科学館だよりの発行

定期刊行物として、「科学館だより」を年2回発行し、中部5県の小、中学校に配布して壁新聞として活用を図っています。

夏、春休みイベントの告知、電気産業遺産の紹介、他の科学館施設の紹介、最新の技術解説が主な内容となっております。25号を数えます。

14. 科学館オリエンテーリングスペシャルの実施

平成5年度から名古屋市科学館とタイアップして、第二土曜日に小、中学生を対象に館内の展示物をヒントに出題される問題を両館で10問を解きながら楽しく遊びながら学習するものです。

参加賞、特別賞、パーフェクト賞も用意しています。

15. 中学生のための第二土曜日「でんき実験くらぶ」

中学生を対象にした「でんき実験教室」です。年3コースとし、1コース4回、各24名。大学教授が講師を務め、学校ではできない科学の実験や、でんきの科学館ならではの電気実験を取り入れた内容です。

16. 小学生のための第四土曜日「こどもでんきくらぶ」

小学4～6年生を対象にした「でんき教室」で、年4コース、1コース3回、各コース20名。

17. こどもくらふとくらぶ

工作好きな小学4年～6年生を対象に年4コース、1コース3回、各コース20名。



こどもくらふとくらぶ

18. クラシック・ビデオ・ディスクコンサートの開催

NHK名曲アルバムをマルチスクリーンで上映。

毎日17時10分から18時10分(ただし毎月第1日曜日は12時30分から13時30分) 当館の3階オームシアター 入場無料

19. エレクトリック・コンパニオンの活躍

個人や団体で見学にいらっしゃるお客さまに、エレクトリック・コンパニオンが案内、解説をするシステムがあります。これはコンパニオンの役割は単なる接遇案内役の他に電気に関する科学知識を分かりやすく説明しています。また28名いるコンパニオンの中から「リーダー」、「チーフ」の資格制度を設定し、館の円滑な運営に参画したり、コンパニオンの業務の円滑な遂行、館運営に対しての提案など行っています。

①コンパニオンイベント

コンパニオンが企画から運営まで担当し、若い女性の感性を生かし、ユニークな企画で年4回開催しています。



コンパニオンイベント風景

②電気実験の実施

3階サイエンスシアターにおいて、一日2回実施しています。バンデ・グラーフジェネレーターを使用して髪を逆立てたり、人体に静電気を蓄積させ他の手を近づけ小さな火花をともなって放電を見せる人体の帯電実験で不思議な現象を実演、電気を使って磁石を作る「電磁石の実験」等実施をしております。

③ライフアップセミナーの開催

- ・ トールペインティングコース

18歳以上の女性を対象に10コース、1コース1回、各コース15名

- ・ クッキングコース

18歳以上の女性を対象に年5コース、1コース4回、各コース6名で4回とも出席できる方。

- ・ 七宝焼きコース

18歳以上の男女を対象に年10コース、1コース2回、各コース15名。

収蔵庫の種類とその点数

電気事業書類、写真、発電機銘板、発送配電、家電製品など2,000点

資料管理方法

収蔵品一覧表にて整理番号で品名、数量を記録しています。また、収蔵品管理カード（登録台帳）を使用して写真添付をし、管理を行っています。

入館者数

(7年度は9月末まで)

年度	来館者数	開館日数	1日平均	達成記念
61	890,396	199	4,474	30万人達成
62	659,098	300	2,197	100万人 150万人
63	782,223	296	2,643	200万人
1	539,749	298	1,811	250万人
2	625,733	298	2,100	300万人
3	694,267	302	2,299	350万人 400万人
4	502,335	298	1,686	450万人
5	570,902	298	1,916	500万人
6	534,795	299	1,789	550万人
7	288,864	151	1,913	600万人
合計	6,088,362	2,739	2,223	



こどもでんきくらぶ

入館者の推移

でんきの科学館は、昭和61年7月オープン以来、平均で年67万人、月5万6千人、一日1,900人のお客さまが来館されました。開館1年たたずに、100万人、平成2年6月に300万人、平成5年10月に500万人、その後順調に増え平成7年8月13日に600万人を突破しました。

このように多くの人々に来ていただくために常設展示だけでなく、夏・春休みには特別展やエレクトリック・コンパニオンの運営から企画によるイベントを開催し、常に時代に合わせた情報を提供できるよう心掛けています。

おわりに

今後の博物館の在り方も生涯学習としての機能を持った社会教育施設、また地域社会に開かれた知的レクリエーションの場としてどのように機能し、どう答えて行くか重要な役割を果たしていく必要があります。

私共、企業博物館として、お客さまのニーズに応えるべく、常にエネルギーに関する最新情報を把握し、「人と人のふれあい」を大切に、「もう一度来て見たい」と言われるよう心掛けて行きたいと思えます。

最後に600万人のお客さまを迎えることができ、親しまれてきましたのも、多数の来館者をはじめ教員関係者等の皆様のご協力の賜と感謝しております。

今後ともエネルギーを中心に生涯学習の広場として、地域社会の文化の創造と形成に努力する所存であります。

<新設館>

韓国初めての子供博物館がソウルにオープン

サムソン・グループ（三星グループ）によって韓国で初めての子供博物館がソウルに1995年6月に誕生した。

<展示活動>

英ロンドン国立科学博物館、三歳児～六歳児を対象とした常設展示をオープン

英国では幼児期における科学教育の普及に強い関心が持たれているが、このほど当地の関係学会の協力を得て、ロンドン国立科学博物館に三歳児～六歳児を対象とした常設展示「ザ・ガーデン」がこの秋にオープンした。

北米の科学博物館で、幼児を対象とした巡回展が開催中

欧米の教育学会や心理学会では幼児期における科学教育の普及に強い関心が持たれているが、現在北米の代表的な科学博物館で巡回している「プレイ・スペース」展はそうした試みの一つだ。同展はもともとアメリカ心理学会の創立100周年記念事業として、同心理学会及びオンタリオ科学館（加）によって1992年に開発されたものだ。

米ノーウォーク海事科学館、クラゲの特別展を開催

クラゲは心臓、肺、脳、眼や骨がないにもかかわらず、地球上では6億5千万年も生き続けてきた。ノーウォーク海事科学館（米コネチカット州ノーウォーク）では、この原始的な動物を生きた状態で紹介する生態展示を開催している。同展では、これらのクラゲを食べるカメの生きた水槽展示も並行して公開している。

<インターネット>

米で、科学館によるインターネットの効果的な利用を研究する研究会が発足

全米科学振興財団と米ユニシス社からの助成を受けて、インターネット、とりわけ WWW の効果的な利用の研究を目的とした研究グループが発足した。グループの構成館は、アメリカの代表的な科学館6館：フランクリン科学館、エクスプロラトリウム科学館、ボストン科学館、オレゴン科学産業博物館、マイアミ科学博物館、ミネソタ科学博物

館。グループの名称：Science Learning Network。

米の自然系博物館の間で、インターネット上で収蔵品情報を共有化する実験が開始

各館の収蔵品情報をインターネットで共有化する試みがアメリカの代表的な自然系博物館8館の間で開始された。この研究の目的は、各館の収蔵品情報を多くの研究者のみならず、一般の人にも利用してもらうことだ。研究グループの構成館：フィラデルフィア自然科学博物館、ニューヨーク自然史博物館、ハワイ・ビショップ博物館、カーネギー自然史博物館、フィールド自然史博物館、ミズーリー植物園、ロサンゼルス自然史博物館、ブロンクス植物園。グループの名称：NATUREnet。

英ストック・オン・トレント市立博物館、蝙蝠の特別展情報を WWW で情報発信

1995年7月31日からストック・オン・トレント市立博物館でスタートした蝙蝠の生態に関する特別展は、キール大学の協力で、インターネット上で見ることが可能になっている。この展覧会の WWW は <http://www.keele.ac/koss/stkmg.html>。

新しいホームページの設置動向

今後このコラムでは新しく知りえたホームページを紹介したい。前号（全科協ニュース25巻4号）も併せて参照。

Cites des Sciences et de l'Industrie (France)

<http://www.iway.fr/cite-sciences/>

Miami Museum of Science (U.S.A.)

<http://www.miamisci.org/>

MIT Media Lab "The Electric Postcard" (U.S.A.)

<http://postcards.www.media.mit.edu/Postcards>

Montshire Museum of Science (U.S.A)

<http://www.valley.net/~mms/>

*ハイフォン：Fax. 03-3496-2146

e-mail. QFH03327@niftyserve.or.jp

—全科協情報—

海外科学系博物館視察研修のお知らせ

全科協主催「海外科学系博物館視察研修」の実施についてお知らせします。

■主 催：全国科学博物館協議会

■期 間：平成8年1月12日（金）～1月25日（木）

■対 象：全科協 正会員・維持会員・購読会員

■参加費用：230,000円（20名以上）

ただし、正会員には、予算の範囲内で1人あたり50,000円以内の研修援助費を支給する予定です。

（なお、定員に満たない場合は、若干の料金が追加されます。）

■主な訪問先：

- ①エクスプロatorium（サンフランシスコ）
- ②バンクーバー博物館（バンクーバー）
- ③パシフィック科学館（シアトル）
- ④オレゴン科学産業博物館（ポートランド）
- ⑤サンタバーバラ自然史博物館（サンタバーバラ）
- ⑥カリフォルニア科学産業博物館（ロサンゼルス）

■日 程

日数	月 日	地 名	訪 問 先
1	1月12日	成田～ サンフランシスコ	着後、自主研修
2	13日	サンフランシスコ	エクスプロatorium公式訪問
3	14日	サンフランシスコ～ バンクーバー	着後、自主研修
4	15日	バンクーバー	終日、自主研修

5	1月16日	バンクーバー～ シアトル	バンクーバー博物館公式訪問
6	17日	シアトル	終日、自主研修
7	18日	シアトル～ ポートランド	パシフィック科学館公式訪問
8	19日	ポートランド	オレゴン科学産業博物館公式訪問
9	20日	ポートランド ～サンフランシスコ ～サンタバーバラ	午前中、自主研修
10	21日	サンタバーバラ	終日、自主研修
11	22日	サンタバーバラ～ ロサンゼルス	サンタバーバラ自然史博物館公式訪問
12	23日	ロサンゼルス	カリフォルニア科学産業博物館公式訪問
13	24日	ロサンゼルス～成田	移動日
14	25日	成田	到着

■申込方法：指定の参加申込書（各会員あて別送）に必要な事項を記入の上、下記へ送付してください。

送付先 国立科学博物館普及課内 全国科学博物館協議会事務局 担当 都川・野口
〒110 東京都台東区上野公園7-20
TEL 03-5814-9857・9858
FAX 03-5814-9898

■申込締切：平成7年11月20日（月）

■申込金：申込みと同時に申込金として、50,000円を下記の銀行口座に振り込みください。

なお、申込金は旅行費用の一部として取扱います。後日振り込みいただきます旅行費用の残額も下記と同じ銀行口座に振り込みとなります。

振込先 さくら銀行 上野広小路支店
 普通預金 口座番号 0966539
 口座名 全国科学博物館協議会

■残額払込：平成7年12月15日（金）
 期 限

■事前研修会：日 時 平成7年12月12日（火）
 14：00～16：00
 国立科学博物館 みどり館5階 特別会議室

■事後研修会：平成8年2月中旬を予定しています。

学芸員専門研修アドバンスト・コース のお知らせ

文部省・国立科学博物館・全国科学博物館協議会主催「学芸員専門研修アドバンスト・コース」の開催についてお知らせします。

■主催：文部省・国立科学博物館・全国科学博物館協議会

■期間：平成7年11月6日（月）～11月10日（金）

■対象：以下の条件を満たすもの

- (1)自然科学系博物館に勤務するか、総合博物館において自然科学系部門を担当する学芸員等専門職員
- (2)原則として、勤務経験 3年以上の者

■募集人員：30人

■会 場：国立科学博物館（本館、新宿分館）

■研修内容：動物、地学、理工の3コースとする。研修プログラムの詳細は別送の案内を御覧ください。

■受講手続き：受講申込者調書及び推薦書（各館あて別送）を国立科学博物館あてに送付してください。

■締 切：平成9月29日（金）

■参加費：無料（受講に関する教材費実費、旅費等は受講者負担）

■問い合わせ：国立科学博物館教育部企画課
 わせ先 〒 110 東京都台東区上野公園7-20
 TEL 03-5814-9876
 FAX 03-5814-9898

ミュージアム・マネージメント研修のお知らせ

文部省・国立科学博物館・全科協主催ミュージアム・マネージメント研修の開催についてお知らせします。

■主催：文部省・国立科学博物館・全国科学博物館協議会

■協力：東京大学教育学部

■期間：平成7年12月5日（火）～12月9日（土）

■対象：主に自然科学系博物館に勤務する管理部門職員（館長、副館長、課長等）

■募集人員：40人

■会場：(1)主会場 国立科学博物館上野本館
 (2)現地研修会場 東京大学

■研修内容

博物館経営概論

- 1 「生涯学習施設経営の視点」
- 2 「人々の意識の変化と博物館」
- 3 「ミュージアム・マネージメントの課題」

博物館経営管理論

- 1 「危機管理の基本」

博物館経営戦略論

- 1 「経営戦略立案の手法」
- 2 「ネットワークを成功させる方法」
- 3 「未来の都市計画に学ぶ」

博物館経営計画論

- 1 「これからの博物館経営の視点」
- 2 「現代的課題に対応した新しい展示」

■主な講師（敬称略）

筑波大学教授	山本 恒夫
日本経済新聞社 流通経済部編集長	池田 俊作
電通コーポレート コミュニケーション局開発部長	澤 茂樹
ホテルニューオータニ マネージメントサービス部長	佐々木成人

■受講手続き：受講申込者調書及び推薦書（各館あて別）を国立科学博物館あてに送付してください。

■締切り：10月20日（金）

■参加費：無料（受講に関する教材費等実費、旅費等は受講者負担）
その他詳細は別送の御案内を御覧ください。

■問い合わせ：国立科学博物館教育部企画課
わけ先 〒 110 東京都台東区上野公園7-20
TEL 03-5814-9876
FAX 03-5814-9898

資料情報のネットワーク化に関する
調査研究委員会について

全科協では、全国の科学系博物館の有する標本資料等の情報について、整理の方法やデータベースの相互利用、情報交流・交換の促進を図るとともに科学系博物館の資料情報等の全国ネットワーク化をめざし、調査研究を行っているところです。

第一年次（平成5年度）は、科学系博物館の資料情報のネットワーク化に関する基礎的調査研究として、各館の情報交流・相互支援に関する要望及び資料の整理の現状を把握するため、「資料整理及びデータベースの作成と利用に関する調査」を実施し、続く第二年次（平成6年度）は、前年度の調査をふまえ先進施設等についての実施事例調査を行いました。

本年度も引き続き、資料情報のネットワーク化に関する

調査研究委員会（座長 斎藤 靖二国立科学博物館 地学研究部地学第一研究室長）において、インターネットを活用した教育普及活動等の方策や情報の提供など科学系博物館のモデル事業を行う予定です。

なお、委員は下記のとおりです。

所 属	職 名	氏 名
千葉県立中央博物館	研究員	石倉 亮治
科学技術館	サイエンス メディア開発主任	田代 英俊
兵庫県人と自然の博物館	情報管理課長	西井 正和
横浜こども科学館	展示課天文係	山田陽志郎
国立科学博物館	普及部長	佐々木勝浩
〃	植物第四研究室 主任研究官	門田 裕一
〃	動物第二 研究室長	松浦 啓一
〃	人類第二 研究室長	溝口 優司
〃	理工学第一 研究室研究官	洞口 俊博

巡回展等実施準備検討委員会について

企画展、共同企画展（巡回展）等の企画、実践、成果等について調査研究を行い、企画展の充実に資するとともに共同企画による企画展の実施のための方策について研究を行うため、平成7年度も引き続き巡回展等実施準備検討委員会を発足させる予定です。

なお、委員は下記のとおりです。

所 属	職 名	氏 名
斎藤報恩会自然史博物館	専務理事	斎藤温次郎
国立科学博物館	普及部長	佐々木勝浩
栃木県立博物館	学芸部長	樋口 弘道
鳥取県立博物館	学芸課長	星見 清晴
名古屋市科学館	学芸課長	三輪 克

第3回「産業技術の継承活動」全国交流大会のお知らせ

「産業技術の歩みと未来を考える交流会議」から全科協に対して第3回「産業技術の継承活動」全国交流大会の案内がありました。

この交流会議は現在52団体の参加と関係省庁の協力を得て、メンバー相互の情報交換活動等を進めています。

本大会には、産・官・学・各界の方々に集まっていたが、日本における産業技術の継承活動の現状と課題を明らかにするとともに、意見交換、交流を通じて、当会議の活動の意義について一層理解を深めていただく機会となることが期待されています。

全科協は会議のメンバーとしてこの事業を後援しています。以下全国大会の概要を紹介して、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

■主 催 (社)研究産業協会

■共 催 産業技術の歩みと未来を考える交流会議

■後 援 科学技術庁、文部省、通産省、建設省、愛知県、
(社)化学工学会、全国科学博物館協議会、
(社)電気学会、(社)日本化学工業協会、
(社)日本機械学会、(社)日本事務機械工業会
(社)日本電子機械工業会

■内 容

第1日 12月8日(金)

13:00 開 場 (ホール)

13:30 開 会

主催者挨拶 飯田庸太郎
(社)研究産業協会会長

来賓挨拶 平石 次郎

通商産業省工業技術院長

14:00 基調講演

「戦後50年の技術開発と、今日本に求められているもの」

西澤 潤一 東北大学総長

14:40 関係省庁の施策紹介

科学技術庁 文部省 文化庁

通商産業省 建設省

15:40 事例発表

I. 「近代科学資料館の創設、その目的と意義」

加藤正義 東京理科大学 近代科学資料館長

II. ①「先達の聞き取り調査」より

永田 宇征 (社)研究産業協会

産業技術継承委員会副委員長 調査

研究分科会主査

日本電気(株) 技術企画部技術調査部

長

②「私の技術開発体験—超高压ケーブル用絶縁紙の開発—」

武 祐一郎 元(株)巴川製紙所取締役開発本部長

III. 「史料にみる化学技術のR&D」

亀山 哲也 化学史学会理事

通商産業省名古屋工業技術研究所セ

ラミック応用部バイオセラミックス

研究室長

IV. 「産業技術の継承における技術史教育の意義と役割」

三輪 修三 青山学院大学副学長

17:15 終了

17:30 交流懇談会

19:00 閉会

第2日 12月9日(土)

8:30 研修見学会

(国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市)

千葉県立現代産業科学館 (千葉縣市川市)

16:40

■参加費用等

会議参加費 15,000円/1名

研修見学会参加費 5,000円/1名

■申込方法

参加ご希望の方は同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、11月20日までに全国交流大会事務局までお送りください。

参加費は、下記の銀行口座にお振り込み下さい。参加申込書ならびに入金の受領確認後、11月下旬に事務局よ

り参加証をお送りします。参加証は、大会当日の受付デスクにご持参下さい。

事務局からのお知らせ

<送付先>

〒113 東京都文京区湯島 3-31-6
 大塚ビルディング5階(社)研究産業協会内
 第3回「産業技術の継承活動」全国交流大会
 事務局 TEL. 03-5688-1291
 FAX. 03-5688-1789

<送付方法>

銀行名 さくら銀行上野広小路支店
 口座番号 6393290 (店番号646)
 口座名 全国交流大会事務局
 (尚、振込手数料は申込者負担となります。)

「全科協ニュース」を皆様の情報交換の場としてご利用ください。資料や情報の提供、標本等の借用希望、事業案内、ご提案、ご意見等、皆様の原稿をお待ちしています。

編集後記

今回の編集は、でんきの科学館が担当しました。
 当館は今年8月で開館9周年になり、600万人のお客様を迎えることができました。
 今後とも、エネルギー全般についての理解を通じて地域社会の発展と文化の向上に努力してまいりたいと考えています。

加盟館の企画展・特別展示のご案内

○国立科学博物館「人体の世界」

国立科学博物館では平成7年9月15日(金)から11月26日(日)まで特別展「人体の世界」を開催します。

この特別展は解剖学者たちの研究組織である日本解剖学会が今年、創立100周年を迎えたのを機に、神秘的に満ちた人間の身体を、一般の人々に分かりやすく、かつ斬新な展示と説明方法により紹介するものです。詳細は国立科学博物館普及課までお問い合わせください。

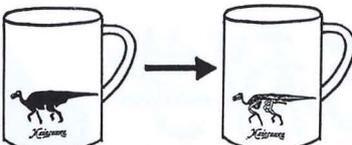
○トヨタ博物館「歴代クラウンと私たちの暮らし」

トヨタ博物館は平成12月12日(火)から平成8年3月31日(日)まで企画展「歴代クラウンと私たちの暮らし」を開催します。

1955年1月に純国産乗用車として誕生して以来、我が国のモータリゼーションとともに歩みつけ、今年で40年、10代目を迎えたクラウンの変遷を、各モデル10台とカタログ、ポスター等で展示・紹介します。

開催場所はトヨタ博物館2階特別展示室となっています。詳細についてはトヨタ博物館総括グループまでお問い合わせください。TEL 0561-63-5151

恐竜マグ



あたたかい飲みものを入れると
骨格図にかわります!!

株式会社 アンティ

TEL 03-3467-6555
FAX 03-3467-6568

〒151
渋谷区富ヶ谷1-17-9
パークハイム302

* ミュージアム・ショップグッズの企画・製作・販売 (マグカップ、Tシャツetc.)
* 特設売店の代行

Practical Specimens for Study of Earth Science

地学標本(化石・鉱物・岩石)
古生物関係模型(レプリカ)
岩石薄片製作(材料提供による薄片製作も受け賜ります。)

大英博物館/恐竜復元模型

縮尺：実物の40分の1 精密教育用モデル、大英博物館製作による刻印入

TEL 03-3350-6725

上京時にはお気軽にお立ち寄り下さい。

(特に化石関係は諸外国より良質標本を多数直輸入し、力を入れておりますので教材に博物館展示等にぜひご利用ください。)



Fossils, Minerals & Rocks
株式会社 東京サイエンス

本社 〒150 渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イフオ・アネックスビル
TEL. 03-3350-6725 FAX. 03-3350-6745
ショールーム 紀伊國屋書店新宿本店1F TEL. 03-3354-9433

TOKYO SCIENCE CO., LTD.

INTERIOR / EXTERIOR / DESIGN / EQUIPMENT
ONY KOBO CO., LTD.
 東京都千代田区神田神保町2-40-5 東久ビル
 TEL (03) 3221-1102(代) FAX (03) 3221-1185



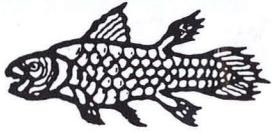
動物園 / 水族館 / 博物館
 企画・設計・施工



COLORATA
 Venture Into The Past The Living Earth Communication For The Future

ミュージアムグッズの企画・デザイン
 カラータ株 〒111 東京都台東区浅草橋4-6-8 西澤ビル3F
 TEL03-3865-8110 FAX03-3864-4049

美術
はく製
 〈各種生物〉
 剥製・骨格標本・レプリカ
 加工 / 販売 / リース



有限 東洋近代美術研究所
 会社

製作所 〒272 千葉県市川市本北方2-18-1 直通 ☎0473-37-5678
 ☎0473-37-5883
 FAX 0473-38-1978

本 社 〒272 千葉県市川市国分5-3-25 ☎0473-74-1564

**感動環境
 創造会社です。**

NOMURA
 株式会社 乃村工藝社
 本社: 東京都港区芝浦4-6-4・電話03-3455-1171(代) 〒108

営業種目 / ディスプレイおよび建築の調査・コンサルティ
 ング・企画・設計・デザイン・プロデュース・演出・制作施工

感じる科学



▲ 恐竜ロボット
 テイラノサウルス

▲ 人型ロボット
 コスモ博士(富崎科学技術館)

文化施設・商業施設・ディスプレイ企画・設計・施工
kokoro 株式会社ココロ
 〒205 東京都羽村市神明台4丁目9番1号
 TEL0425(30)3911(代)・3939(営業)
 FAX0425(30) 3900・3927(営業)